天白を元気にする社協発情報紙
ぱわわ
30号

ぱわわとは？
ぱわ　天白を元気にする力(パワー)
わ　地域をつなげる輪(わ)と和める(わ)たまり場づくり
そんな思いがひとつになって ぱわわと名づけました！

発行　社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
情報紙「ぱわわ」プロジェクト
〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301
原ターミナルビル3階
TEL:052-809-5550　FAX:052-809-5551
E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp
http://www.tenpaku-shakyo.com
編集　株式会社 リベルタ
〒466-0842 名古屋市昭和区檀渓通2丁目4-2 檀渓ビル2F
TEL:052-833-0987　FAX:052-833-0988
E-mail:libertad@mbp.nifty.com

情報紙「ぱわわ」へのご意見、ご感想も
はがき・FAX・メールにて受け付けています。

視覚障がいその他の理由で活字のままで読むことの困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。
EYE LOVE EYE EYEマーク

天白区社協スタッフが現地で感じた 東日本大震災 被災地派遣レポート（岩手県大槌町）

3月11日に起きた東日本大震災は、未曾有の大災害となりました。名古屋市社会福祉協議会では、3月下旬から11月中旬（予定）まで、岩手県大槌町に職員の派遣を行っています。天白区社協からも4人の職員が現地へ。現場で見た東日本大震災の災害支援の様子を、座談会形式でお送りします。

一面がれきの山と化した大槌町の風景

炊き出しボランティア

おおらかな地元社協の姿に教えられる

松井　私たちは現地の社協が運営する災害ボランティアセンターのお手伝いとして、ボランティア希望者と被災者からの困りごととのマッチングなどを主に行ってきました。

神村　私の時期は、炊き出しボランティアの調整に苦心しましたね。避難所は400人のところもあれば30人のところもあり、大規模な避難所に炊き出しが集中してしまう傾向がありました。

中原　炊き出しボランティアが昼と夜で出来るかと確認し、例えば500食あるなら、昼に大きな避難所で400食、夜に小さな避難所で100食と、分散して行っていただきました。

濵田　当日、何人ボランティアが来るかわからない状況で、ボラインティアの調整を行わなくてはならなかったので、事前にボランティア団体と調整を密に取るようにしていました。

神村　一定数以上のボランティアを断っていた市町村もあったようですが、大槌町社協の方はとてもおおらかで、来る人はどんどん受け入れる。結果的には、その姿勢を貫いたのが良かった部分もあったと思います。大槌町はゴールデンウイーク後も、ボランティアの減り方が少なかったのではないでしょうか。

辛さを笑顔に変えて

松井　現場の様子はどうでしたか？

濵田　地域の住民の方と接すると、仕事も住む家もなくなったのに、辛い話を淡々と明るく話されていたのが印象的でした。

中原　一番困難に直面しているのは現地の人ですから、私たちが辛い顔をしていてはいけない。現場では、AKB48などの楽しい音楽がかかっていましたよ。モチベーションを上げて、気持ちを前に向けていたんでしょう。

中原　ボランティアの人もいろいろで、もう一度この海でサーフィンをしたいというサーファーや、軽トラック一杯のあじさいを運んでくれた岐阜県の方など、さまざまな人の思いを受け取った気がします。

神村　いろんな人が、ニーズを自分たちで見つけ、できることをされていました。「復興」という目標に向けて、一つになっている実感がありました。

社協の役割を再認識した支援活動

松井　被災地の支援で、何が大切だと感じましたか？

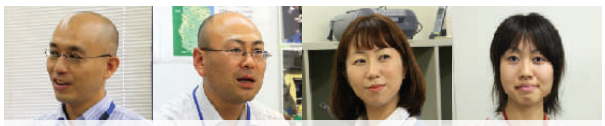
神村　現地の人に寄り添うこと、これに尽きると思います。自分の思いは二の次で、「被災された方々がどうしたいのか？」を、最優先に考えることですね。

中原　最終的には、地元の社協だけで作業が回せるようになることが大事。ですから、私たちが何でもしゃしゃり出てはいけない。それとは裏腹に、現地の社協の人自身が被災者なので、なるべく休んでもらいたいという思いもありました。

神村　社協は全国組織なので、長期的支援という点でそのスケールメリットが生かせると実感しました。

濵田　もし天白区が大きな災害に見舞われた場合、避難所に集まるのは、社協に日頃から関わっている人が多いと思われます。その人たちと行政やボランティアなどを結ぶ役割が、私たち社協だと思います。

中原　そうですね。大槌町でも、現地の人と社協の人が顔見知りだから、支援がスムーズにできました。天白区でも、その役割は同じだと思います。



濵田　直也	神村　昌克	中原　陽子	松井　美保
派遣期間	派遣期間	派遣期間	派遣期間
4/17～4/25	4/27～5/5	5/22～5/30	7/3～7/11

ここはどこ？

天白区内のとある小さなお堂です。中には石に彫られたお地蔵さまがおさめられています。さぁ、どこにあるかわかるかな？答えはP.3です。【昔の写真募集中！】

心、穏やかに健康で明るい生活！
社会福祉法人 高坂福祉会
高坂苑
天白区高坂町197-1
☎805-0100
◆特別養護老人ホーム
◆デイサービス
◆居宅介護支援事業所
◆ショートステイ
◆訪問介護◆訪問入浴
◆福祉用具
◆配食サービス
デイサービスセンター 大根　天白区大根町58　☎808-8200
グループホーム 高坂苑　天白区高坂町196-1　☎805-1220
住宅型有料老人ホーム 寿シニアハウス 平針　天白区平針3-1503　☎807-3373
高坂保育園　天白区高坂町74　☎804-0010
ホームページアドレス http://www.takasaka.info/

社会福祉法人 八事福祉会
◆ 特別養護老人ホーム 八事苑
◆ デイサービスセンター 八事苑
◆ ショートステイ
◆ 居宅介護支援事業所 八事苑
◆ 天白区西部いきいき支援センター
〈姉妹施設〉特別養護老人ホーム　第二八事苑
☎834-3000
天白区大坪二丁目801番地
介護職員等を募集しております
「やさしい心」が何よりの資格です。
お気軽にお電話ください。
☎834-3000〈担当〉丹羽

来年度 新施設（入所施設・デイサービス）Open（オープン）予定
寄り合い茶屋　お気軽に遊びに来てください！
年中無休 AM8:30～12:30
お菓子付 パン・コーヒー 200円
小規模多機能 ひらばり ☎052-433-5192
グループホーム 向が丘 ☎052-433-6111
グループホーム ひらばり ☎052-800-0026
グループホーム 向の山 ☎052-893-6487
小規模多機能 向の山 ☎052-893-6488
天白区向が丘4丁目1002　「ほほえみ 介護」で検索

YASUE CLINIC 安江内科クリニック
■ 診療科目　内科・消化器科・小児科
■ 診療時間

時間＼曜日	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:30	●	●	●	●	●	●
午後 4:30～7:30	●	●	●	●	●	／

■ 休診日　土曜午後・日曜・祝日
☎(052)848-1788
天白区大根町370（天白消防署西隣）
地下鉄鶴舞線　原駅　下原　安江内科クリニック　天白消防署　天白消防署前

みて・みて・きいて

天白区を中心に活動しているボランティアグループを紹介するこのコーナー、今回は防災ボランティアグループの紹介です。

第3回 天白防災助け合いの会 天白でぃぷり

「天白でぃぷり」は、各地の災害の教訓をもとに、メンバーの特技や知識を活かしながら、「災害に強いまちづくり」「住民・ボランティアのネットワークづくり」を目的とした活動をしている団体です。「でぃぷり」とは、disaster（災害）とprevention（防止）の頭をとって 名付けられました。

【活動の紹介】

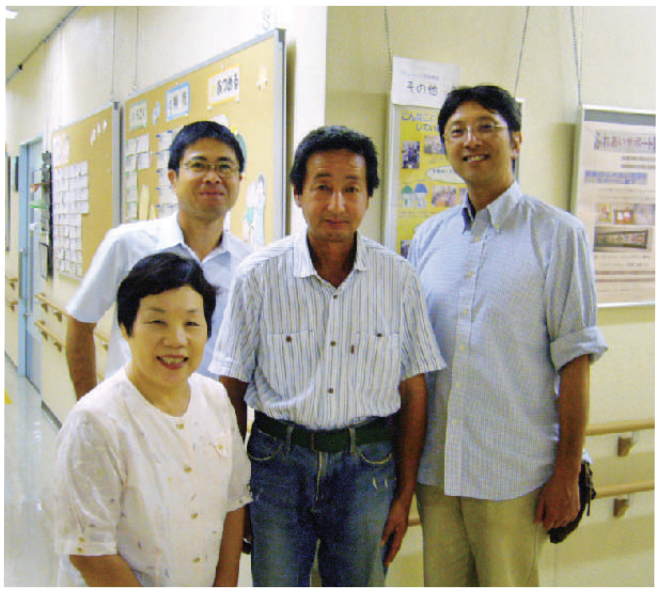
誰でも参加できる、防災に関する学習会を定期的に開催しています。今までは耐震補強についての講義や非常食の食べくらべ、町歩きワークショップ等を行ってきました。また防災訓練などの地域のイベントへの参加や、天白区内の防災講座に講師の派遣もしています。

学習会の様子

東日本大震災による県外避難者の方の交流会も企画・実施しています。

実際に大規模災害が起こった時には、「天白でぃぷり」は災害ボランティアセンターの運営協力し、天白区社会福祉協議会とともにボランティア調整などを行います。

「天白でぃぷり」での活動は、防災の経験や知識がなくても大丈夫！それぞれの特技や知識を活かしながら活動できます。みなさんもぜひご参加ください。



でぃぷり定例会に参加のメンバーをパチリ

参加の方法は２通りあります。

①正会員の場合

定例会・総会・臨時総会への出席、学習会などの企画に参加いただけます。

年会費1,000円

②賛助会員の場合

学習会などの各種イベントにご参加いただけます。１口（年間）1,000円

問合せ先

「天白でぃぷり」事務局

天白区社会福祉協議会内　担当：松井

（連絡先は本紙１面上部に記載）

ホームページ：http://19800.net/dipre

天白でぃぷり キャラクターでぃぷり君

ぱわわひろば　読者のお便り

私の義母は、現在92歳で一人暮らしです。介護用品の必要な年齢ですが、数年前に布団の上げ下ろしがつらくなり、ベッドを探し始めた時に、御器所の福祉用具プラザを知り、相談しました。親切に対応して頂き、ベッドと簡易トイレを入手し、重宝しております。　　一読者より

社協からのコメント

福祉用具プラザは、福祉用具の専門施設。福祉用具や介護のことについて相談できます。中でも今回は、福祉用具のリサイクルについてご紹介します。

福祉用具プラザ内にある、「AJUリサイクル相談事業部」では、福祉用具を必要としている人と、使わなくなった福祉用具をお持ちの人の橋渡しを行っています。「ゆずってかーど」「ゆずりたいかーど」に必要事項を記入し登録すると、なごや福祉用具プラザにおいて、希望を掲示したり、福祉関係事業所にFAXでお知らせします。原則として「譲って」希望の方から「譲ります」希望の方へ連絡を取っていただき、現物を確認していただいた上で交渉します。交渉が不成立の場合でも、希望により継続して募集することもできます。

また、福祉用具プラザでは、福祉用具に関することだけではなく、バリアフリーの宿や交通機関、温泉、福祉制度の情報なども提供しています。

皆さんも、ぜひ一度ご相談されてみてはいかがでしょうか？

問合せ先

AJUリサイクル相談事業部

〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通3-12-1
御器所ステーションビル3F 福祉用具プラザ内
TEL: 052-851-0059　FAX: 052-851-0159
Eメール： recyclesodan@aju-cil.com

営業時間：10：00～18：00
休業日：月曜・祝日・年末年始（月曜日が祝・休日の場合は火曜日も休み）

読者の皆様のご意見やエピソードなどを募集しています。情報紙「ぱわわ」プロジェクトあて、郵送またはメール、FAXにてお送りください（連絡先は表紙上部に記載してあります）。文字数は300字以内でお願いします。なお、掲載にあたっては、意味を損ねない程度に編集する場合があります。掲載させていただいた方には、図書カード（500円分）を進呈します。

まちの声を聞きました

今回のテーマ　**被災地ボランティアに参加して**

３月11日に発生した東日本大震災から、もうすぐ６カ月。現地では今なお、多くのボランティアが復興に向けて活動しています。今回は宮城県七ヶ浜町でボランティア活動をされた高須清光さんに、お話を伺いました

高須 清光さん（天白区在住）

高須さんは、レスキューストックヤードのボランティアバス運転手として現地入りし、運転手の傍ら、空いた時間にボランティア活動に従事しました。

最初の現地入りは４月７日で、避難所での足湯の準備、チラシを持って住民のニーズ調査、ボランティア用の炊き出し等を行いました。

ボランティアをしてみた感想を伺ってみると、「若い人は積極的にボランティアをやってほしい」と語ってくれました。被災し苦難の真っただ中で、人々が前向きに生きる姿、自分のことより他人を思いやる人々を、ドラマや映画の世界ではなく現実に見た高須さん。ぜひ若いうちに、このような体験をしてほしいと熱く語ります。

またボランティア同士のつながりの強さを感じたとも話してくれました。損得勘定で人間関係を形成してしまいがちな世の中、見ず知らずの人々が同じ目的を持ち、同じ目標に向かって活動する様子は、職場などの日常生活では、なかなか体験することができないことです。実際、ボランティア活動が終わった後も、ボランティア同士の交流があるとのこと。

避難所での足湯の様子

今もボランティアバスの運転手として現地に向かう高須さん。今回の経験が、やる気と不安でいっぱいのボランティアと接するときに生きてくるとのことでした。

広告募集中

地域のふくし情報紙**「ぱわわ★天白を元気にする情報紙★」**に広告を載せてみませんか??
・次号発行：平成23年12月9日(金)・発行部数：約61,000部
(中日新聞折込及びポスティングにより全戸配布しています)
・広告掲載料【1枠基本料金】：表面・裏面…20,000円
中面…18,000円
※複数枠掲載や連続掲載による割引もございます。詳しくはお問合わせください

連絡先　天白区社会福祉協議会　ぱわわ担当：松井
TEL：052-809-5550　FAX：052-809-5551
E-mail：tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

体験利用 見学 随時受付中

・希望される方（介護認定を受けた方）は体験利用（食費400円のみ）でご利用できます。
・見学を希望される方もお気軽にお電話下さい。

隣接する野並保育園の園児との自然な交流が笑顔を呼びます。

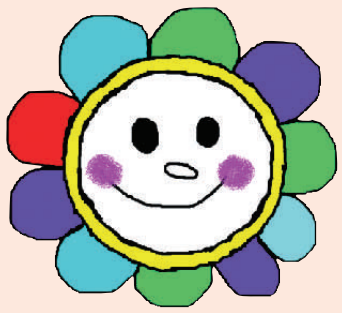
野並デイサービスセンター　天白区福池2丁目340番地
http://www.nohonoho.com/index.html　nonami.f@yk.commufa.jp
☎896-3434

ふれ愛ネット天白&天白区福祉区民のつどいの キャラクターが生まれました!

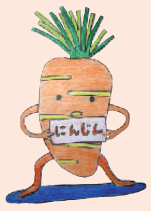
2009年度の天白区福祉区民のつどい実行委員会をきっかけに、募集・選考を進めてきた「ふれ愛ネット天白」及び「天白区福祉区民のつどい」のイメージキャラクターがついに決定しました！

応募総数39点の作品の中から、関係者の投票で見事「キャラクター賞」に選ばれたのは、古川　絢さん（はあと平針）の作品。シンプルながら印象に残る、可愛らしいキャラクターになりました。今後はパンフレット、チラシ、イベントなど様々な場面で活躍していきますのでよろしくお願い致します。

「キャラクター賞」「作品賞」の表彰式および作品応募者への記念品授与は、10月23日（日）開催の「第27回天白区福祉区民のつどい」にて行います。また、同イベントでは作品の展示も致しますので、皆様、是非ご覧ください。
（※このキャラクターに関する一切の権利は、ふれ愛ネット天白に帰属致します）



「キャラクター賞」
古川 絢さん（はあと平針）



「作品賞１」
山田 真吾 さん
（生活介護ココロ）

「作品賞２」
上松 久江 さん
（ほっとハンズ）

問合せ先　「ふれ愛ネット天白」事務局（天白区社会福祉協議会内）　TEL:809-5550　FAX:809-5551

ここはどこ？

答え
【原二丁目の平針西口交差点の道分地蔵】

答えは、マツザカヤストア前の歩行者帯にある、道分（みちわけ）地蔵です。なんと1768年（明和4年）に作られたとのこと。当時は、熱田神宮～伊勢方面と、八事～名古屋城方面への二またのあぜ道の分岐点にありました。区画整理時、学校の校庭に移動させられた後、校庭の隅に追いやられ桜の木の下に転がっていたという悲しい過去を持っているお地蔵さん。区画整理後は今の地に落ち付き、交通安全を祈りつつ、道行く人々を温かく見守っています。（参考文献：「お地蔵さん見つけた」中日新聞社会部編著 平成13年中日新聞社発行）

天白区内の昔の写真を募集しています。掲載させていただいた方には、500円分の図書カードを進呈します。

この指とまれ！ ボランティア・イベント情報

ボ ボランティア　イ イベント

イ 天白区障害者地域自立支援協議会　シンポジウム「東日本大震災から学ぶ」～被災地での障害者・高齢者支援活動を通じて～

被災地・被災者にどう寄り添うのか、支援活動実践者の語りとともに、想いを巡らせてみませんか。

■**日　時**：11月22日（火）　10：00～
■**会　場**：天白区文化小劇場
（地下鉄原駅真上　原ターミナルビル４階）
※公共交通機関をご利用ください。
■**入　場**：無料（申込み不要）
■**内　容**：NPO法人レスキューストックヤード 代表理事の栗田　暢之氏をお招きしての「基調講演」と被災地での支援活動に従事した３名のシンポジストを交えての「シンポジウム」を開催します。
■**シンポジスト**：
荒畑 敬子氏（名古屋市精神保健福祉センター 所長）
渡邉 伸久氏（はあと平針 支援員）
神村 昌克氏（天白区社会福祉協議会 事務局次長）
■**問合せ**：天白区社会福祉協議会
（連絡先は本紙１面上部に記載）

イ 「車いすインストラクター養成講座」受講生募集

小・中学校などでの車いす体験学習（授業）をサポートしたり、老人ホームで車いすを使っている方などの散歩をお手伝いするインストラクター（ボランティア）を養成する学習会を開催します。【全２日間講座】

■**日　時**：10月６日（木）、10月７日（金）
いずれも10：00～12：00
■**場　所**：名城大学天白キャンパス（天白区塩釜口1-501）
※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。
■**内　容**：車いす操作方法、下肢障がいについてなどの学習と車いす体験
■**受講料**：100円（資料代等）
■**対　象**：天白区内に在住または在学・在勤で受講後に活動が可能な方
■**定　員**：20名（先着順）
■**申込方法**：９月21日（水）までに電話　または　FAX（住所・氏名・年齢・性別・連絡先をご記入ください）にてお申し込みください。
■**申込み・問合せ**：天白区社会福祉協議会　担当／中原
（連絡先は本紙１面上部に記載）

イ 視覚障がい者ガイドボランティア養成講座　受講生募集

あなたの腕を、目を、空いた時間に貸していただけませんか？正しいガイド方法を学び、実際の歩行体験を通して、視覚障がいのある方のために、外出を援助したり、学校などの福祉体験をお手伝いしたりするボランティアを養成します。ぜひご参加ください。

■**日時・内容**：３回連続講座
第１回　10月５日（水）視覚障がいとは
第２回　10月12日（水）
ガイドの方法を学ぼう①「屋内歩行」
第３回　10月19日（水）
ガイドの方法を学ぼう②「乗り物に乗って」
時間はいずれも10：00～12：00です。
■**場　所**：天白区在宅サービスセンター 研修室
（地下鉄原駅真上３階）
■**定　員**：20名
■**費　用**：500円（保険料、資料代含む）
※第３回の交通費は実費負担です。
■**申込方法**：９月30日（金）までに電話またはFAXで申し込み下さい。（先着順）
■**主　催**：ガイドボランティアグループ「天白わかば」、天白区社会福祉協議会
■**申込み・問合せ**：天白区社会福祉協議会　担当／首藤
（連絡先は本紙１面上部に記載）

イ 第27回天白区福祉区民のつどい開催！（天白区区民まつりと同時開催）

■**日　時**：10月23日（日）10：00～15：00
（小雨決行）
■**場　所**：天白公園・天白生涯学習センター
■**内　容**：福祉体験・ゲームコーナー・授産製品販売・模擬店・フリーマーケットなど

<第27回天白区福祉区民のつどい ボランティア募集>

天白区区民まつりと同時開催する「福祉区民のつどい」を一緒に盛り上げてくださるボランティアを募集中です。

【前日準備のボランティア】
■**日　時**：10月22日（土）　13：00～
■**内　容**：会場準備など

【当日のボランティア】
■**日　時**：10月23日（日）　9：00～16：30頃
※午前または午後のみの活動可
■**内　容**：受付、赤い羽根共同募金活動のお手伝い、福祉体験やゲームコーナーのお手伝い、障がい者の参加補助など
■**募集対象**：中学生以上の方ならどなたでも
■**問合せ先**：天白区社会福祉協議会
担当／通木（つうき）
（連絡先は本紙１面上部に記載）

社会福祉法人　天白原福祉会
特別養護老人ホーム　千寿乃里
事業内容
● 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）定員60名
● 短期入所生活介護（ショートステイ）　定員15名
● ぽんぽこ千寿（保育施設）　定員10名
天白区原三丁目1905番地
見学を希望される方、お気軽にお電話下さい。☎847-2941
http://sky.geocities.jp/senjunosato/index.html

介護スタッフ（有資格者）募集
あなたらしさを応援
社協 ホームヘルパー「なごやかスタッフ」になりませんか。
空いている曜日、時間に無理なく働けます。
（研修制度・資格手当有り）

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会
まずはお気軽にお電話下さい
在宅福祉部　☎052-731-9758
天白区介護保険事業所　☎052-800-2255

万全のアフターサービス　24時間完全管理
マンション入居者様募集中!
マンション・店舗・倉庫・事務所など
親切、ていねいな当社にご相談ください。
住環境良好、新築・1ルーム多数有り!
紹介キャンペーン実施中! 詳しくは店頭までお問い合せください。
モデルルーム有り　カーテン照明器具プレゼント!
本州建設株式会社
本社 ● 名古屋市天白区原五丁目1401番地　☎(052)803-8123(代)
名東支店 ● 愛知郡長久手町戸田谷1024番地　☎(0561)63-1123(代)
港支店 ● 名古屋市港区春田野一丁目205番地　☎(052)303-6123(代)
東海支店 ● 東海市富木島町伏見一丁目17番7　☎(052)604-0808(代)
守山支店 ● 名古屋市守山区瀬古東一丁目1801番地　☎(052)792-5123(代)
ホームページアドレス　http://www.honshu.co.jp/

ぱわわな子育て日記 No.30 ある朝のできごと

OLだった頃、朝早く駅に到着したので、あるドーナツ店に入りました。出社時間になったので席を立ち、混雑の中“ありがとうございました。”の声を受け、私は少し会釈をしながらドアから出ようとした時、その中の店員さんの視線を感じるのでふと振り返った瞬間、その方は自分の右手で口元辺りをささっとはたく仕草を見せました。反射的に私も自分の口元をはたいていました。その方は優しい笑顔になり私に会釈をして、再び注文のお仕事をされてました。この2人の間に一切言葉はありません。ドアを出てから、なんだかとてもあたたかい気持ちになりました。これは20年前のお話です。もしあの時店員さんが「口元に粉ついてますよー。」って混雑の中で言っていたのなら、どうなっていたのでしょう。最近読んだ本に“思いやりは生まれ持った性格もあるが、そうしたいと努力する気持ちがあれば（大人になった）今からでも大丈夫”と書いてあり私でも大丈夫かな…。と障がい育児にほんの少し余裕が出来た今、しんどい人の心のそばに寄り添えればとペンを走らせております。（ひだまり）

ぱわわな介護日記 No.21 認知症の人の世界を知る（その18）“ここに私の居場所はありますか？”

Kさんは、認知症をお持ちの76歳のおばあさん。施設生活が合わずにご自宅に戻り、他者との関わりや介護を全て拒否される状態でした。一日中、自分の部屋と台所の間を這って往復し続けるKさんは、ヘルパーの声掛けにも反応しませんでした。

そこでヘルパーは、Kさんがやりたいことを尊重しようと考えました。声掛けも「今日も精が出ますねぇ」「お疲れ様です」などと、Kさんの行動を受容する内容にしました。1ヶ月ほどすると、Kさんはヘルパーの声掛けに反応し始め、半年後には静かに会話できるようになりました。

認知症の方の行動には必ず目的があり、それを尊重する関わりが大事です。Kさんの部屋と台所は、きれいに片付けられていました。Kさんは、住み慣れた家の大切な居場所（部屋と台所）を守るため、家の中を往復されていたのでしょう。認知症の方が自分の居場所を実感できるような配慮が大切です。（モカ）

ぱわわギャラリー

今宵またミルク味せる栄養剤　胃へ直に入れまことに哀し

「胃ろう」の手術を受けた主人は、要介護5、最初在宅介護を敬遠しました。家に病人を抱える重大さを思ったからです。幸いに家族の協力のもと先生、スタッフの皆さんに手厚く看て頂き感謝しています。

（天白区　滋野昌子）

読者の皆様の絵手紙、イラスト、写真などの作品を、その作品にまつわるエピソードを添えてご投稿ください！　※作品は、投稿者に著作権が有するものに限ります。
投稿方法：住所、氏名（ペンネーム）、年齢、電話番号を明記の上、郵便またはメールでお寄せ下さい。

編集後記

ぱわわ30号は防災特集です。3月11日から世界中に送信された映像は、地球船のどこかで繰り返されている自然との戦いを他所のことと流していた私に、生きるということを根底から変えさせました。
自然の力に人為的事故の重なりからもたらされた大惨事、あれから半年を経て今、名古屋は市をあげて被災地を支援しています。来るであろう東海地震に対する一人一人の行動指針の参考としたい。　（安閑人）

問合せ先 ギャラリーの投稿先
社会福祉法人　名古屋市天白区社会福祉協議会　情報紙「ぱわわ」担当　松井
〒468-0015　名古屋市天白区原一丁目301番地　原ターミナルビル3階
TEL:809-5550　FAX:809-5551　E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

赤い羽根共同募金のお願い

赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの地域の福祉活動を支援する募金です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

■書道・ポスター作品展（第63回赤い羽根協賛児童生徒作品展）のご案内
天白区内の小・中学校の生徒から応募していただいた書道とポスターの作品の中から、それぞれ入賞した作品を展示します。ぜひ、子どもたちの力作を見にご来場ください。
期　間：10月26日（水）～11月1日（火）　9:00～17:30
会　場：天白区在宅サービスセンター　研修室　（地下鉄鶴舞線原駅真上3階）
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

連絡先
天白区共同募金委員会
〒468-0015　原一丁目301 原ターミナルビル3階
（天白区社会福祉協議会内）　TEL:809-5550　FAX:809-5551
※赤い羽根共同募金の使いみちなどの情報につきましては、ホームページ（http://akaihane.or.jp）をご覧ください。

善・意の・輪

次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。
（平成23年5月1日から平成23年7月31日受付分 受付順）
○植田北学区防災訓練実行委員　様
○匿名　1件☒

一緒にみちくさしませんか？
住みなれた環境の中で大切な時間を過ごす。
家庭的で笑いのあふれるわたしたちのハウスへ。
認知症対応型通所介護
12名定員の小規模な事業所です。認知症の方たちに安心して在宅での生活を送ってもらえるようにご支援します。認知症のご相談もお気軽にどうぞ。
小規模多機能型サービス ナーシングホーム わか草
介護スタッフ募集中！
デイサービス ケア・マネージメント　指定地域密着型サービス事業所
みちくさ　TEL 800-2141　FAX 800-2148
天白区土原2丁目408

毎日のお食事、お困りではありませんか？
ニコニコキッチンが、皆様のお手元に1食からお届けします。
（試食受付中です！）
ニコニコキッチン天白・緑店
☎805-2507
FAX 805-2514
名古屋市天白区中平5丁目614 ハイム原南1-A

そこにあなたが♥
いてくれること
家族が幸せになる♥♥
そんな介護がありました
住み慣れた町で、笑顔の毎日を。ライフケアグループ
・デイサービス ライフケア久方
・小規模多機能ホーム ライフケア山根
・小規模多機能ホーム ライフケアーつ山
・グループホーム ライフケアーつ山
・小規模多機能ホーム ライフケア平針
〒468-0033
名古屋市天白区一つ山三丁目52番地
福祉事業本部
☎(052)717-3899
http://www.kk-lcs.co.jp
e-mail lifecare@kk-lcs.co.jp

地下鉄栄駅⑧出口直結
SUNSHINE SAKAE
名古屋栄　観覧車　検索
www.sunshine-sakae.jp
〒460-0003　愛知県名古屋市中区錦3-24-4　TEL：052-310-2211

一人ひとりの日中活動を応援します
社会福祉法人平針福祉会
生活介護事業所（通所）
はあと平針　☎804-8571
名古屋市天白区天白町大字平針字黒石2878-354

真心こめたお弁当をお届けいたします
共同作業所 ほっとはむ
天白区池場3-408
介護保険指定特別給付事業者
手作りお弁当
昼食用弁当 TEL 804-6880 ほっとっと
夕食用弁当 TEL 832-9629 ほっとたいむ

人とのふれあいと、心の豊かさを大切にします
◆介護に関する御相談は
☒居宅介護支援事業所へ
◆ショートステイ、デイサービスの利用も出来ます
☒（併設：養護・特別養護老人ホーム）
誠和荘　☎781-2859
天白区植田山2-101

この情報紙は、広告収入の他、皆さまから寄せられた賛助会費・共同募金配分金を財源としています。